

令和5年度 第2回 山ノ内町健康づくり委員会 会議要旨

○開催日時・場所・出席者

開催日時 令和6年1月16日(火) 午後1時30分から午後15時まで

場 所 山ノ内町役場401会議室

出席者 下記のとおり

○協議事項(会議趣旨)

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議事項

・山ノ内町健康増進計画等策定健康づくり委員会設置要綱第5条により会長が議長となり会議の進行を行う

(1) 健康増進計画(令和6~17年)案について

・計画書素案に基づき計画の内容の説明を行う。

<意見>

・P67~69:今後の対策で「歯科医院の町外への拡大」とあるが、言葉だけが独り歩きしてしまっている。過去に中高医師会で相談もしたが途中で頓挫してしまった。須高医師会では、須高圏域の市町村は圏域の医院で受診できる。役場でも近隣市町村と相談をし、中高医師会でも同じようにできないか検討してほしい。

<意見>

・P1:個人の所得の実態と健康との関連について把握できないか。

→把握は難しい。

・P2:NCDsが記載されている。P63にも関連しているが、イギリスの医学雑誌特集号に載っていた。とても重要な表だと思われる。(3)の中に「健康な食環境」とある。厚労省のHPを見て参考にしてほしい

→招致した。

・P14:図表13について、10年以上前から希望しているが、成人式に健診を行ったらどうか。小中学校までは診れるが、高校以上になると健診を受ける場がない。

→成人式は難しいが、来年度は休日健診を行う。若い年齢層と未受診者に多く受診していただきたい。

・P16:不健康度合いの表だが、逆パターンを作成したらどうか。

→今回掲載するのは難しいが参考としたい。

・P19:P49とも関連するが、女性で痩せている人が小さく子供を産むと心配。

・P20:財政状況にたばこ税載せられないか。

→現在約6,000万円ほどの収入。今回は掲載を見送り。

・P20:任意型検診の前立腺がんの受診率やがん発見の状況は?

→がん検診の目的は死亡率を減らすことであり、死亡率減少効果が確立されている対策型がん検診でないため前立腺がん検診は全国比較のデータがない。しかし、毎年前立腺がんで亡くなる方、検診でがんが見つかる方がいるので、受診者については精検受診状況などの追跡は行っている。

- ・P21：肺がん検診を受けた方で、喫煙の状況は把握できるか。肺がんは本人だけではなく、本人の治療費はタバコを吸わない人たちも負担している。非常に腹が立つ。禁煙外来者数は把握できるか？子宮頸がんは検診率は当然だが、ワクチン接種率は目標にできないか。

→肺がん検診の問診で喫煙状況を聞いているため、受診者のうち喫煙者の状況を把握できるデータがあるか検診機関に確認する。

子宮頸がんの受診率は、予防接種担当に確認したところ全国比較できるデータはない。町の状況を把握できるデータがあるか、再度確認する。

- ・P22：休養について、昔は「早寝早起き朝ごはん」とよく言っていた。須坂や中野市ではコンテストを行っているよう。山ノ内は子どもの生活習慣を把握しているか。

→表彰は行っていないが、肥満増加の背景に睡眠不足などの生活リズムの乱れがあるため、乳幼児期からの健全な生活習慣の確立の必要性については計画書にも記載している。学校で調査している生活習慣の状況については把握できていなかったもので、担当に確認していく。

- ・P32：心電図の中で「心房細動」の発見が非常に重要。不整脈の中で心房細動はどのくらいいるか？

- ・P37：健康ポイントについて、協力店をもっと周知したらどうか。ポイント獲得者を広報に載せたらどうか。

→既に掲載している。チラシ等も結果報告会などで配布中。

- ・P54：減塩の実体験をしたほうが良い。減塩の日を設けるなど考えてほしい。

- ・P56：関トレナーに助言を求めたらどうか。

- ・P57：マレットゴルフをする若い人が増えない。

- ・P75：産業人口はとても大事。もっと大きくしてほしい。

- ・P64：喫煙者減ってきている。最近の企業では、喫煙をする人は採用しないところもある。いい加減禁煙に舵をとってほしい。

- ・健診データは国保だけか？国保以外を把握することはしているか？

<全体への回答>

- ・数字的なもので、こちらで把握している場合はまた表等にして委員に送付する。今回はこの案で決めさせていただきたい。

## (2) 今後の予定について

- ・資料により説明。パブリックコメントで大きな変更がない限り第3回の健康づく

り委員会は開かないものとする。承諾を得る。

#### 4. その他

<委員から>

- ・児童生徒はスマホ等長時間使用している。小学校になってからでは遅く、乳幼児の時から指導してほしい。

<委員から>

- ・総合型地域スポーツは来年度から設立される。先ほど話のあった関トレーナーもメンバーに入っている。健康づくりとスポーツを合わせて考えていけるようになるとうい。

<委員から>

- ・この地域は塩分を取りすぎている。味覚を小さいことから養うのが大事。

#### 5. 閉会

##### ○出席者（敬称略・順不同）

（委員）

中高医師会山ノ内町薬剤師代表	関 正雄
中高医師会山ノ内町医師代表	城下 裕
中高歯科医師会山ノ内町歯科医師代表	山本 雅英
北信保健福祉事務所管理栄養士	小林 ゆかり
小中学校用語教諭部会	神田 可織
山ノ内町民生児童委員協議会生活福祉部会長	一山 司
山ノ内町食生活改善推進協議会長	竹節 ふみ代
山ノ内町スポーツ推進委員長	山口 辰也

（事務局）

健康福祉課 課長	小林 一夫
健康福祉課健康づくり支援係長	堀米 かおり
健康福祉課健康づくり支援係保健師	佐藤 絵美
健康福祉課健康づくり支援係管理栄養士	徳竹 陽子